※令和３年度以前入学生用

学校番号	1017

令和５年度　理科

教科	理科	科目	化学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　改訂　化学」（第一学習社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する → 解決の方向を構想する → 解決する → 解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった過程で、自分の考えを発表したり議論したりする活動を行います。
・プリントで授業を進めます。問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく途中の式や考え方も書くようにしましょう。答え合わせは正誤だけでなく、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。

2　学習の到達目標

１．酸と塩基の性質について理解できるとともに，日常生活や社会と関連づけて考察できる。
２．酸化還元、電池、電気分解に関する概念や法則を理解できるとともに日常生活や社会と関連づけて考察できる。
３．有機化合物の性質や反応を探究し，有機化合物の分類と特徴が理解できるとともに，日常生活や社会と関連づけて考察できる。
４．高分子化合物の性質や反応を探究し，合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴が理解できるとともに，日常生活や社会と関連づけて考察できる。
５．上記の目標を達成するために探究活動を行い，学習内容を深めるとともに，化学的に探究する能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	学習状況 授業参加態度 探究活動 プリント提出 実験・観察	学習状況 授業参加態度 定期考査	学習状況 授業参加態度 実験・観察	学習状況 プリント提出 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学	単	学習内容	主な評価の観点	単元(題材)の評価規準	評価方法

※令和３年度以前入学生用

			a	b	c	d		
1	酸と塩基・酸化還元	酸と塩基	○				a：酸と塩基・酸化還元に関心を持ち、意欲的に探求しようとする。 b: 酸と塩基・酸化還元科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 c: 酸と塩基・酸化還元を科学的に探究する技能を身に付けている。 d: 酸と塩基・酸化還元について基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。	学習状況 授業参加態度 探究活動 プリント提出 観察・実験 定期考査
		水の電離と水溶液の pH	○					
		中和反応			○			
		塩		○				
		酸化と還元				○		
		酸化剤と還元剤				○		
2	電池・電気分解・有機化合物	金属の酸化還元反応	○				a: 電池・電気分解・有機化合物に関心を持ち、意欲的に探求しようとする。 b: 電池・電気分解・有機化合物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 c: 電池・電気分解・有機化合物を科学的に探究する技能を身に付けている。 d: 電池・電気分解・有機化合物について基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。	学習状況 授業参加態度 探究活動 プリント提出 観察・実験 定期考査
		電池				○		
		電気分解		○				
		有機化合物の特徴と分類		○				
		飽和炭化水素			○			
		不飽和炭化水素				○		
3	有機化合物	アルコールと関連化合物				○	a: 有機化合物に関心を持ち探求しようとする。 b: 有機化合物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 c: 有機化合物を科学的に探究する技能を身に付けている。 d: 有機化合物について基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。	学習状況 授業参加態度 探究活動 プリント提出 観察・実験 定期考査
		芳香族化合物			○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。